

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社竹内製作所					
代表者名	氏名	竹内 敏也	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	26 生産用機械器具製造業				
主たる事業の概要	各種建設機械 [標準型ミニショベル(クローラー式、ホイール式、電気式)、超小旋回型ミニショベル、クローラーローダー、クローラーキャリア]の設計開発から販売までの完成品メーカー					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2321	2251	2547	2315	2249
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5152	4997	5623	5065	4936
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	18		18	21	22
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	21				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所 食堂 掲示板 閲覧可能時間 9:00-17:00 連絡先 総務部 総務課 (TEL 0268-81-1100)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

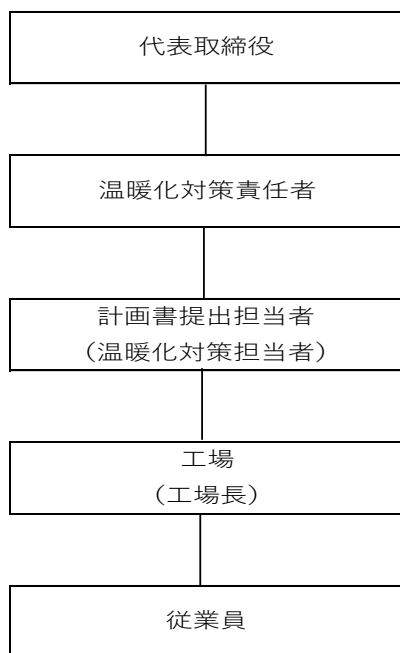
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

・会社の行動規範の一つに、【環境への配慮】として、かけがえのない地球を次世代に継承するため、環境保全に努めるとともに、環境に役立つ技術の研究開発に自主的、積極的に取り組む事を掲げ、環境への取り組みを社員へ周知しております。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

株式会社 竹内製作所 地球温暖化対策 組織図



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

・省エネルギー推進委員会
1回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,152	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	65	単位	千t	
28年度	調整後排出量	5,129	t-CO ₂	基準原単位	79.17	t-CO ₂ /	千t	
目標年度	目標排出量	4,997	t-CO ₂	目標原単位	76.79	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1%の削減目標といたします。 							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,623	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	73.66	単位	千t	
	調整後排出量	5,591	t-CO ₂	原単位	76.34	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(9.15)	%	削減率	3.57	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本社工場の増築により、生産量が増加した事により、CO2排出量は増加となりました。 							
第二年度	排出量	5,065	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	73.60	単位	千t	
	調整後排出量	5,042	t-CO ₂	原単位	68.82	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	1.68	%	削減率	13.07	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本社工場、LED照明機器導入した。 ・太陽光パネル(第一工場増設部)に70kW設置した。 							
第三年度	排出量	4,936	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	110.60	単位	千t	
	調整後排出量	4,908	t-CO ₂	原単位	44.63	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	4.19	%	削減率	43.62	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生産機種が生産構成が小型機種⇒大型機種が増加したため、鉄材の使用量が増えた。 							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
28年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	21	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	170303 太陽光発電管理	H29～ H31	10	H29～ H30	13
2	エネ起	150105 デマンド制御（自動制御方式）			H30	2
3	エネ起	380752 本社工場（LED導入）			R 1	0.1
4	エネ起	380752 戸倉工場テント倉庫（LED交換）			R 1	0.1
5	エネ起	380752 戸倉工場事務所（LED導入）			R 1	0.5
6	エネ起	330299 戸倉工場事務所（EHP交換）			R 1	0.5
7	エネ起	330299 戸倉工場（冷風機増設）			R 1	0.01
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	250	70	250	320	320

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂	0				
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂	0				
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂	0				
県が認証したクレジット	tCO ₂	0				
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	23		32	23	28
低炭素電力の利用	tCO ₂	0				

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	3	5,152	3	5,623	3	5,065	3	4,936
合計	3	5,152	3	5,623	3	5,065	3	4,936

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	2	3
合計	1	1	2	3
自動車総数	18	18	21	22
次世代車導入割合	5.6	5.6	9.5	13.6

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	「特になし」
その他	「特になし」

15 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	・マイカー通勤率；97%です。
公共交通機関の利用促進	「特になし」
来客者の交通対策	「特になし」
物流の合理化	「特になし」

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	本社工場2棟を新設し、LED照明、高効率空調、太陽光発電を導入しました。	
第一年度実績	本社工場へH30年2月に太陽光発電を導入しました。 リサイクル品（入荷梱包資材等）再利用	
第二年度実績	リサイクル品（入荷梱包資材等）再利用	
第三年度実績	リサイクル品（入荷梱包資材等）再利用	

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	LED照明の導入によりCO2排出量を削減	160
その他	工場空調設備GHP⇒EHPへ変更を検討している。	